

2026 年度予算編成等に対する要望書

空前の物価高騰が市民の暮らしと営業を直撃しています。私たち党市議団が全世帯対象に行なっている暮らしのアンケートには、

「切り詰められるものは切り詰めたが、それでも足りないので介護サービスを利用するのをやめた」(80 代夫婦)

「年金月 13 万円でギリギリ。お米が買えないときは『すいとん』で腹を満たす。電気、ガス、水道の督促状ばかり。止まってもいいやと過ごしている」(60 代単身者)

など大変深刻な暮らしの実態や切実な願いが綴られている返信がこれまでにない規模で返ってきている状況です。

逼迫する市民の暮らしを守る政治の責任、役割が今ほど問われ、求められているときはないと感じています。

古賀市長におかれましては、市長選の公約、また 6 月初議会の所信において、3 本の優先政策の第一の柱に「市民の生活を物価高から守る。物価高に苦しむ市民や市内事業者を支援します」との立場を表明されております。いまこそ、この立場に立って市民の暮らしと営業を全力で支援するときだと考えます。

よって、今回の新年度予算要望書の提出にあたっては、早急に取り組むことを求める「緊急政策」と「重点政策」「一般政策」と区別して要望させていただくことといたしました。

新年度予算案への反映はもとより、12 月議会以降の補正予算での緊急対応含め、検討と具体化を図っていただきますよう重ねて要望するものです。

[緊急政策～物価高から暮らしと営業を守るために～]

- ・ 電気・ガス代補助を実施すること
- ・ お米券の支給を実施すること
- ・ 国保税など社会保険料、下水道使用料の引き下げを実施すること
- ・ 市の工事・委託事業の発注単価の引き上げ等による賃上げを進めること
- ・ 保育・介護・障害などのケアワーカーの賃上げ支援を行うこと
- ・ 介護事業所への財政支援、介護ヘルパーの処遇改善支援を行うこと

[重点政策]

■教育・子育て支援について

- ・ 早急に小中学校の雨漏りの修繕・改修を進めること
- ・ 学用品費・修学旅行等の教育費の負担の軽減・無償化を進めること

- ・ 学童クラブの子どもたちをはじめ希望する子どもたちへ、夏休みの給食提供を実施すること。
- ・ 小学校の朝 7 時以降の学校開放を実施し、子どもの居場所を確保すること。
- ・ 不登校の子どもと保護者への支援(①SSW の増員など相談支援体制の充実、②民間のフリースクールへの支援の実施、③教職員の増員・少人数学級の実施、④食事代の支援)、及び特別支援教育の充実(学級支援員・介助員等)を図ること。
- ・ 子どもたちをはじめ地域住民の参加で、公園の再生・魅力ある公園づくりを進めること。

■高齢者の暮らしと安心の介護について

- ・ 補聴器購入費の補助額の引き上げ・所得制限の撤廃・現物支給の実施で、高齢者等の聞こえの支援を図ること。
- ・ ミニバス・ワゴンタクシー・デマンド交通などの地域公共交通を守り、拡充すること。
- ・ 駅周辺・バス停・まちなかへのベンチの設置を進めること
- ・ さわやか健康体操の充実など健康づくりへの支援を進めること
- ・ 特養ホーム等の介護施設の拡充、認知症の方々への支援の充実を図ること

■緑と清流、環境重視のまちづくりについて

- ・ まちづくり条例・環境基本条例等を活かし、相次ぐデータセンター等の大規模開発から地域の住環境を守り、市の環境基本計画・気候変動対策施策ロードマップを遵守させること。
- ・ 断熱改修や太陽光パネル設置への助成を実施すること
- ・ 緑地・公園などの樹木・街路樹の適正管理を図るとともに、保全・拡充を進めること。
- ・ 学校給食への地元野菜の活用拡大、生産緑地の買取り・公有地化、有機農業支援など、農業・農地の保全を進めること。

[一般政策]

■ 教育・子育てに関する施策の充実を

- ・ 保育園給食の無償化を進めること
- ・ 学校図書館司書の 1 人 1 校配置を進めること
- ・ 国民健康保険税の子どもの均等割を廃止すること
- ・ 子育て世代へ向けた家賃助成制度を実施すること
- ・ 保育士等の配置の充実、保育園・学童クラブの施設改修・増設などで保育・学童クラブの量質の拡充を図ること
- ・ 「ほっとも」における子どもの食事や余暇活動への支援を進めること。

■地場産業を応援し、地域経済の活性化を

- ・ 公契約条例の 3 つの改革・改善(対象工事金額現状 1 億円以上からの引き下げ、対象委託事業の拡大、報酬下限額の引き上げ)で、賃上げ・地場産業を支援すること。

- ・ 省エネ(断熱工事補助)・再エネ(パネル設置補助)の気候変動対策の取り組みで、起業支援・地場産業支援を進めること
- ・ 公共施設の小規模修繕事業の対象事業及びさらなる金額の拡大を図り、賃上げ・事業者支援を進めること。
- ・ リフォーム助成制度の改善・拡充を図ること
- ・ 空き店舗での創業支援、商店リフォーム助成などによる商店(街)支援を進めること
- ・ 建設産業振興条例の制定し、地場の建設事業者を系統的に支援すること
- ・ 学校給食への地元産農産物の提供を誘導する奨励金制度の拡充(対象品目の拡大・キロ単価の引き上げ)を進めること

■高齢者が安心して暮らせるまちづくりを

- ・ 高齢者食事宅配サービス事業における利用料の軽減など、利用及び事業継続へ向けた支援を充実すること
- ・ 高齢者民間住宅家賃助成制度の対象を UR・公社住宅にも拡大すること
- ・ エアコン購入費・電気代の助成を実施すること

■障害者差別の解消・合理的配慮を進める障害者政策

- ・ 学校教育における「福祉教育ハートフルプロジェクト」の更なる促進を図ること
- ・ 市役所による障害者の法定雇用率 2.8%の達成のための対策を講じ、障害者雇用枠の拡大を図ること
- ・ 合理的配慮の提供促進に関する補助制度の拡充を図ること
- ・ 重度障害者等の通勤や就労におけるヘルパー派遣制度をつくること
- ・ 基幹相談支援センターの設置に伴う専門体制の充実を図ること

■ジェンダー平等・多様性・多国籍住民に関する政策

- ・ 非正規職員の正規化を推進するとともに男女の賃金格差の解消を進めること
- ・ 多様な性の当事者・家族・支援者へ向けた相談事業の充実、交流スペースの設置を進めること
- ・ 多言語での各種情報提供、外国語での相談窓口の設置を進めること
- ・ 外国にルーツをもつ子どもの日本語教育に関する生活面、学習面での支援を充実させること。

■公共交通を守り充実させるための支援の抜本拡充を

- ・ 運転手確保のための新たな支援制度(免許取得支援・住宅手当支援など)をつくり、現在のミニバスの路線・本数を維持するとともに、さらなる充実を図ること。
- ・ 交通空白地域の解消へ、ミニバス・ワゴンタクシー・デマンド交通の拡充を図ること
- ・ ワゴンタクシー(明星ルート・平山リート)の土日実証運行を再開・実施すること
- ・ デマンド交通の早期検証を行い、バス停・予約制・料金の改善を図るとともに、エリア

の拡大を図ること

■生活道路の改修・公園の再生・リニューアルを

- ・ 「改定道路舗装補修計画」に基づき、「財政非常事態宣言」「財政再建計画」後に計画されている4億円規模の予算確保で主要道路・生活道路・歩道の早急な改修を進めること
- ・ 住民参加・ワークショップ方式による市内公園の再生・リニューアルを進めること。

■災害から命と人権を守るために

- ・ 豪雨による多摩川・浅川の氾濫対策を国、都に求めるとともに、内水氾濫対策を抜本的に強めること。また、災害時の日野市全体の避難計画、ハザードマップを住民とともに、作成し、普及すること。
- ・ 避難所については、スフィア基準(人道憲章と人道対応に関する国際的な最低基準)を踏まえ、トイレやテントの確保、ペットの同行避難などを保障する避難所及び運営マニュアルを整え、防災訓練の実効性を高めること。
- ・ 障害者など避難行動要支援者の個別避難計画の作成を抜本的に促進するため、必要な人的体制を整えること。

■命と健康、尊厳を守るために

- ・ 生活保護ケースワーカーの増員を進め、相談・支援体制の充実を図ること。
- ・ 市民の命と健康を守る拠点として市立病院の役割と存在意義を明確して、維持・充実のための支援を強めるとともに、系統的な情報提供を行なって、市民の理解と信頼を広げるよう努めること。
- ・ 市内鉄道駅への一刻も早いホームドアの設置へ、JR、京王電鉄に強く要請するとともに、駅ホームへの人員配置を求めること。
- ・ 市民の安全を脅かすオスプレイの飛行禁止、横田基地の撤去を求めること。

以上